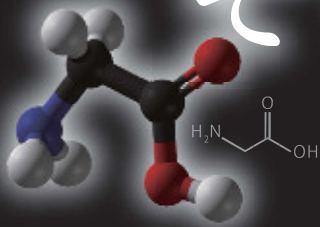


2018

第1回

彗星と海、 そして生命



太陽系の中を長い楕円軌道を描いてめぐる無数の彗星（ほうきぼし）。その正体は私たちの太陽系を作った「微惑星」と呼ばれる小さな塊の名残りです。いまでも時折、太陽に近づく彗星が明るく長い尾をたなびかせることがあります。そんな彗星が、実は地球の海のもとになったという説があります。更に、彗星に含まれていた様々な物質が、地球の生命の源になっていた可能性まであるのです。

講演では、こうした最新の研究成果についてお話しします。



講師

河北 秀世

神山天文台長、本学理学部長・教授

専門は太陽系天文学。
主要研究テーマは彗星から探る太陽系の起源。

2018年

5月19日 土

15:00-16:30

会場

京都産業大学
神山天文台 地下1階 ホール

料金

無料 ※予約不要・直接会場へお越しください。

対象

中学生以上

夜間は天体観望会を開催します(19:00~21:00)。*悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催

主催 京都産業大学 神山天文台

その他 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」(16:30~17:30)を開催します。
お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。

問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎ 075-705-3001 🌐 <https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>